

留学生の声

塾内在籍高校・学年(派遣時)	高等学校 2年
留学先高校名	The Taft School
留学期間	2018年 9月から 2019年 6月まで

留学を振り返って

日本の学校と異なり、国籍・宗教・ジェンダーアイデンティティなどが異なる様々な生徒が集まっていて多様性に富んでおり、とても刺激になり視野が広がりました。

スポーツでは期待以上の経験が出来ました。日本では考えられないような充実した施設でレベルの高い選手と一緒にプレーでき、とても良い経験が出来ました。渡米する前は勉強中心の生活になるのかなと思っていましたが、そんなことはなく、文武両道でスポーツにもかなり集中できました。

学業では想像以上に英語でのディスカッションのレベルが高く、最初はあまり参加できませんでした。数か月は苦労しましたが、場数を踏むにつれ度胸が付き慣れていきました。

ルームメイトはどのような方でしたか？

1人はカンボジアからの同じく1年間の派遣留学生でした。物静かでしたが、仲は良かったです。

もう1人はカナダからの子でした。アイスホッケーと野球の推薦で入学しており、野球では年齢別のカナダ代表に選ばれているくらい上手な選手でした。すごく陽気で、アイスホッケーのVarsityのチームメイトだったのもあり、一緒に過ごす時間が長く、かなり仲が良かったです(彼は日本人は全員野球をやっていると思っていたらしく、初めて会った時野球ではなくアイスホッケーをやっていると伝えたらかなり驚いていました)。

部屋では特に揉めることもなく、互いにあまり干渉しないというスタンスで生活しました。寮に入って、これまでは両親にやってもらっていたことも全て自分でやらなければいけなく、始めは大変に感じましたが、徐々に慣れていき一人で生活できるようになりました。

課外活動は何をしていましたか？

秋はCommunity Serviceに参加し、週2回、子供たちの宿題を手伝うというボランティアをしました。アメリカでは学生も様々なボランティア活動に積極的に参加していて、ボランティアが身近にあると感じました。

冬はIce Hockey チームに入ることを希望していたので、11月半ばにトライアウトを受け、一番上のレベルのVarsity Teamに入ることができました。週に4回練習・2回試合があり、かなり忙しかったです。オフの日は自主練をしていました。

春はTrack and Field Teamに入部し、種目は400m走・300m h走でした。アイスホッケーと同じく週4回練習・2回大会でしたが、拘束時間はアイスホッケーと比べるとかなり短かったです。

授業・宿題について

French : 塾高で少し勉強していたので選びました。日本と比べて圧倒的に会話に力を入れていて、文法にはあまり時間を割いていませんでした。日本と比べ対話形式の授業が多いので、常に話していて楽しかったです。

Honors-Precalculus : 進度的にはちょうどいいですが、理系は総じて日本と比べて簡単でした。授業の仕方は日本とあまり変わりませんが、問題は全員で解くことが多かったです。基礎を徹底的にやるという感じでした。

Economics : 専門的で日本の高校では学べないので面白かったです。授業は講義形式ですが、週に1回最新のニュースを取り上げたDiscussionを行いました。他の生徒が思いのほか時事問題に強く、日本にいた頃はアメリカのニュースに一切興味がなかったのが、このDiscussionのために時間をかけて準備をしていました。また、年度末にAP Examがあり、それに向けても勉強しました。

Public Speaking : パワーポイントで準備をしてスピーチをすることもあれば、話す直前にお題を与えられてスピーチするなど、様々なスピーチを行いました。英語が第一言語でない人にとっては難しいクラスです。

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度

が、話す力はかなり鍛えられ、友達や先生とのちょっとした会話も自信を持ってできるようになりました。

Canto : 週に2回集まってクリスマスの発表などに向けて合唱の練習をしました。

Honors Physics : 講義形式で、週に1、2回実験がありました。内容は日本とあまりかわらない感じで、数学と同じく基礎を徹底する感じでした。

English : 毎日課題の本を1章読み、翌日 Discussion を行い、本を読み終わるたび Essay を提出しました。シェイクスピアを読んだときは寸劇も行いました。始めは Discussion や Essay に慣れず、先生に相談しながら授業に参加していましたが、二学期からは問題なく Essay 等も書けるようになりました。

Discussion では差別や宗教の話題が多く、今までそういう内容について深く考えたり意見を発表することがなかったので、最初は自分の考えや意見を作るのに精一杯でした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

留学には「成功」の形が決まっていません。過去の先輩方は学力が極めて高い、あるいは芸術系の才能が著しい方が多いという印象を自分は持っていますが、自分はどちらも苦手なため果たして留学先で上手く生活できるのか不安を感じていました。しかし留学を終えた今、スポーツなど自分の得意な分野で爪痕を残せたのではないかと思います。

過去の先輩方とは比べずに、自分の長所を最大限に活かして留学生活を楽しんでください。

以上

